

東北臨床細胞学会会報
第 41 号

目 次

理事長挨拶	1
会告 第57回東北臨床細胞学会学術集会	2
役員会議事録	5
各県臨床細胞学会活動報告	9
青森県	9
秋田県	11
岩手県	13
山形県	14
宮城県	15
福島県	17
役員名簿	18
会則	20
会員数	22
事務局一覧	23

理事長挨拶

東北臨床細胞学会 初代理事長

伊藤 潔

会員の皆様方には、日頃より、東北臨床細胞学会の活動にご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。このたび、第41回会報をお届けできることを、心よりうれしく思います。

今回の会報誌には、昨年7月に秋田県で開催予定でした第57回東北臨床細胞学会学術集会の記録を掲載予定でしたが、ご承知の通り、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催は1年延期となりました。今回は、改めまして本年の7月3日にライブとオンデマンド配信で開催されます第57回学術集会のプログラムを掲載しております。会長の南條博先生および秋田県の関係者の方々の2年にわたるご尽力に心より感謝申し上げます。

昨年1月以降、中国武漢を発生源に起こった世界的な新型コロナウイルス感染の蔓延と拡大は、いまだに収束の気配が見えません。日本でも感染拡大に伴って大きな社会変動が起こり、今年夏のオリンピック・パラリンピック開催も危惧される状況です。学術集会に関しても、大小を問わず、軒並み中止、延期あるいはWEB開催となっています。会報を紐解いても、各県の臨床細胞学会は、青森県、秋田県、岩手県は現地開催である一方、山形県は現地あるいはWEB開催、宮城県はWEB開催、福島県は延期と、各県様々な対応がみられます。日本臨床細胞学会本体では、昨年6月開催の第61回春期大会（横浜）はWEB開催、11月の第59回秋期大会（横浜）はハイブリット開催、そして今年6月開催予定の第62回春期大会（千葉）もハイブリット開催の予定です。その反面、ハイブリットあるいはWEB開催とした各学会には例年以上の参加者が集まっており、これまで現地に赴くことが難しかった潜在的な参加希望者が、多くおられたことが窺い知れます。物事には表裏両面がありますが、今後、学会開催の有り様も、これを契機として、大きく変わっていくと考えられます。来年11月5日6日に仙台で開催予定の第61回秋期大会に関しても、これまでの経緯を踏まえつつ、慎重に開催方法を検討し、少しでも多くの方に参加できる形式のものを構築できればと考えております。ご協力いただきますよう、この場を借りてお願い申し上げます。

コロナウイルスの問題は、数年単位での行動変容を社会に迫るもので、それは、我々の関わる細胞診も例外ではありません。車検診など集団検診を中心とした検診は、「集団」であるが故に、特に昨年前半、多くの地域で中止や延期となりました。日本対がん協会によれば、2020年のがん検診受診者数は前年に比較して約30%も減少しており、未発見のがんが近い将来、進行がんとなって発見する事態が危惧されています（対がん協会報2021年4月）。これまでは、地方の医療過疎を補う上で、効率的かつ有益であるとして推進が図られてきた集団検診も、今後は大きな「行動変容」を余儀なくされ、それに伴い、細胞診の在り様も、大きく変革されていくと考えます。今後、皆様方の英知と経験を結集しながら、東北地区の細胞診はどうあるべきか、検診手法は地域の保健医療の中でどうあるべきか、共に考えていければと存じます。会員の皆様方のご支援・ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ではありますが、皆様方とご家族、ご関係の方々のご健康を願い、また新型コロナウイルスの一刻も早い終息を祈念しております。

第 57 回東北臨床細胞学会学術集会

会告

第 57 回東北臨床細胞学会学術集会 会長

南條 博

この度、新型コロナウイルス感染症の蔓延により一年延期となりました、第 57 回東北臨床細胞学会学術集会を秋田県が担当し、2021 年 7 月 3 日（土）に開催させていただきます。伝統ある本会を担当させていただき、大変光栄に存じます。現在もお新型コロナウイルス感染症が蔓延し、医療が逼迫している現状を鑑み、現地開催を断念し、当日の Zoom によるライブ配信とオンデマンド配信（1 週間）で開催致します。

がんゲノム医療が本格的に始まり、基盤となる病理細胞診断の重要性が増しています。また、医療における AI の利用がクローズアップされ、細胞診断への導入も模索されています。今後益々、細胞診の迅速性、簡便性、液状検体の取り扱いなどの長所を活かし、より精緻な細胞診断を進めていく必要性を実感しております。

今回は、【細胞診の総合力】をテーマに、会を進めさせていただきます。特別講演では、秋田大学腎泌尿器科学講座教授の羽渕友則先生に、泌尿器科腫瘍の最新の治療やご研究のお話をいただく予定です。教育講演は、秋田病理組織細胞診研究センターの阿部一之助先生に子宮頸がん細胞診の精度管理、最新の AI 研究などのお話をお願いいたしました。また、シンポジウムでは「細胞診断のポイントとピットフォール」と題し、子宮内膜、胆汁・膣液、体腔液、リンパ節、乳腺、尿の細胞診断について、各県の担当の先生方にご討議いただく予定です。また、従来通り、スライドカンファランス（婦人科、呼吸器、その他）ランチョンセミナー（乳癌）を予定しております。開催にあたりまして、ご講演、ご協力をお願いをご快諾いただきました皆様方に、厚く御礼を申し上げます。

以上、半日あまりのオンライン開催となりますが、諸臓器の細胞診断について、みなさまに大いに議論していただき、今後の日常診療にお役立ていただきたいと思いますと考えております。

本学術集会は、産婦人科医、外科医、病理医、細胞検査士らが意見交換を行う、東北では年 1 回の貴重な会です。できるだけ多くの会員のみなさまにご参加いただき、細胞診断の底力を感じ取っていただければ幸いに存じます。新型コロナウイルス感染症が収束することを祈念しております。どうぞよろしくお願い致します。

学術集会プログラム

テーマ：細胞診の総合力

会期：2021年7月3日（土）11：00～17：00

（Zoomによるライブ配信とオンデマンド配信を1週間行います。）

役員会（9：30～10：30）

開会の挨拶（11：00）

教育講演（11：05～11：50）

座長 安保 淳一 先生（岩手医科大学附属病院病理診断科）

「子宮頸部細胞診の制度管理 ～AIを用いた新たな試み～」

講師 阿部 一之助 先生（秋田県病理細胞診研究センター）

ランチョンセミナー（12：00～12：50）

（共催：アストラゼネカ株式会社）

座長 橋本 優子 先生（福島県立医科大学病理病態診断学講座）

「病理診断における卵巣癌治療の最近の話題」

講師 津田 均 先生（防衛医科大学病態病理学講座）

スライドカンファレンス（13：00～13：50）

座長 渡辺 みか 先生（東北公済病院）

鈴木 俊市 先生（鶴岡市立荘内病院）

- 1) 婦人科 出題者：三浦 理絵 先生（弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座）
解答者：志田 愛実 先生（山形大学医学部附属病院 病理部）
- 2) 呼吸器 出題者：金子 実幸 先生（岩手県立中央病院 病理部）
解答者：長澤 千鶴 先生（太田総合病院附属 太田西ノ内病院 病理部）
- 3) その他 出題者：高野 託願 先生（大崎市民病院 病理部）
解答者：山谷 千晴 先生（中通総合病院 病理部）

特別講演（14：00～14：50）

座長 南條 博（秋田大学医学部附属病院病理部病理診断科）

「多発尿路上皮癌の混乱から泌尿器科ロボット支援手術の旬まで」

講師 羽瀧 友則 先生（秋田大学大学院医学研究科 腎泌尿器科学）

シンポジウム(15:00~17:00)

「各臓器における細胞診断のポイントとピットフォール」

座長 佐藤 宏和 先生 (秋田赤十字病院)
吉岡 治彦 先生 (弘前大学医学部保健学科)

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1) 子宮内膜 (青森県) | 小田嶋 広和 先生 (弘前大学医学部附属病院病理部) |
| 2) 乳腺 (山形県) | 緒形 真也 先生 (山形県立中央病院病理診断科) |
| 3) リンパ節 (福島県) | 菅野 寿也 先生 (福島県立医科大学附属病院病理部) |

座長 石田 和之 先生 (獨協医科大学病理診断学講座)
三浦 弘守 先生 (東北大学病院病理部)

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 4) 体腔液 (宮城県) | 三浦 弘守 先生 (東北大学病院病理部) |
| 5) 胆汁、膵液 (岩手県) | 石田 和之 先生 (獨協医科大学病理診断学講座) |
| 6) 尿 (秋田県) | 伊藤 智 先生 (秋田大学医学部附属病院病理部) |

閉会の挨拶(17:00)

役員会議事録

※今年度は、新型コロナウイルス流行の影響で、メール審議、Web会議となった。

メール審議 令和2年4月16日

下記2点の審議依頼。

- 1) 第57回東北臨床細胞学会学術集会の開催を1年延期とする(2021年7月予定)
- 2) それに伴い、その後の各県での開催も一年ずつずらす(2022年は山形県)

メール報告 令和2年4月19日

下記2点の審議報告。

- 1) 第57回東北臨床細胞学会学術集会の開催を1年延期とする(2021年7月予定)
- 2) それに伴い、その後の各県での開催も一年ずつずらす(2022年は山形県)

※多くの方からご支持いただき、ご異論や反対意見無く、可決とした。

メール審議 令和2年5月15日

理事長選挙及び役員会開催方法について。

会則第4章第11条、および細則2の学術集会での役員会で理事長を選出する件。

本年は新型コロナウイルスの影響により、学術集会の延期が決定している為、理事長選出・役員会をメール審議で行いたい。

- 1) 理事長選はメール投票とする
2018年(平成30年)同様、理事長に立候補される先生を事前に募りたい。6月前半に公示し立候補者を募り、候補者が複数の場合はメールでの投票にしたい。
- 2) 役員会はメール審議で行なう
例年、役員会の運営、議案書の作製は開催県で行なっていたが、今年度は本部で議案書を作成、メールで役員の先生方にご承認・ご意見を頂く事としたい。

メール報告 令和2年5月26日

- 1) 理事長選はメール投票とする。
- 2) 役員会はメール審議で行なう。

※ 異論、反対の意見無く、可決とした。

※ 投票の方法、役員会の詳細について、後日連絡する。

※ 理事長選の会告、立候補届を添付する。理事長に立候補の理事は添付の書式により、所信表明の書類を6月12日(金)までに、事務局へ提出願う。

メール報告 令和2年6月15日

東北臨床細胞学会理事長立候補者開示

立候補者 伊藤 潔 理事(東北大学災害科学国際研究所災害産婦人科学分野・教授)

事務局では、2020年6月1日から2020年6月12日までを立候補受付期間とし、理事長候補の立候補を受け付けた。その結果、1名の立候補を受け付けた。

後日開催予定の役員会において、会則第11条に基づき理事長の選出を行うが、候補者が1名だったので細則2により投票は行なわないこととなる。

また、伊藤理事が立候補にあたり提出された所信表明の書類は、理事各位の参考に資するものと判断し、添付する。

経歴と所信・・

1986 年東北大学医学部卒。同年、東北大学産婦人科医員。1992 年より米国ジョージワシントン大学に留学。1994 年東北大学助手。2001 年宮城県対がん協会細胞診センター所長（兼務、2012 年まで）、2002 年東北大学婦人科助教授、2012 年より現職（医学系研究科同分野 教授を兼任）。

私は 2013 年から日本臨床細胞学会理事、2016 年からは倫理委員会委員長、2019 年より 地域連絡委員会委員長を務めています。東北地方では、東北臨床細胞学会理事、宮城県臨床細胞学会会長、そして 2018 年からは東北臨床細胞学会理事長として活動中です。学術面では、2017 年 7 月第 54 回東北臨床細胞学会、9 月第 26 回日本婦人科がん検診学会を会長として開催しました。子宮がん検診の精度管理を中心とした活動を行い、多くのシンポジウム・教育講演で発表してきました。

本学会の使命として、細胞診断学の発展のみならず、検診の精度管理の向上および均霑化は、今後一層重要性を増すと考えます。また、東北地方は検診率、精度管理とも全国的には上位に位置しながら、発信力は十分ではありません。この度、皆様方のご協力により、2022 年 11 月 5、6 日に第 61 回日本臨床細胞学会秋季大会を仙台で開催することとなりました。東北の地での開催は 15 年ぶりとなります。その機会を活かし、微力ながら、東北地方の臨床細胞学の発展に寄与させていただき、さらに東北地方から全国に積極的に情報発信していく所存です。ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

東北臨床細胞学会 2020 年度役員会議事録

新型コロナウイルス感染拡大による第 57 回東北臨床細胞学会学術集会の延期を受け、役員会をメール会議、Web 会議にて行った。

【メール会議】2020 年 7 月 21 日～7 月 31 日

1. 報告事項

以下 1) ～ 4) について各会務担当理事による事前確認を行い、メール審議にて 1) ～ 5) とともに、各理事に資料をご確認いただき、承認を頂いた。

- 1) 総務報告
2020-2021 年度役員および 2020 年 3 月 31 日現在の会員数を報告。
- 2) 学術報告
2019 年度行事報告および 2020 年度行事延期を報告。
- 3) 会計報告
2019 年度収支決算および収支の推移について報告。
- 4) 監査報告
適正で問題の無い旨の監査結果を報告。
- 5) 前年度学術集会決算報告
第 56 回東北臨床細胞学会学術集会収支決算書(開催県監査済)を報告。

2. 協議事項

- 1) 理事長承認
伊藤 潔理事が再任され、承認された。
- 2) 2021 年度学術集会についての確認
第 57 回東北臨床細胞学会学術集会
担当県：秋田県
期日：2021 年 7 月 3 日(土)
- 3) 2022 年度学術集会についての確認
第 58 回東北臨床細胞学会学術集会
担当県：山形県
期日：2022 年 7 月 2 日(土)
- 4) 2020 年度予算案の承認
- 5) 東北臨床細胞学会繰越金の使い道についての検討
東北臨床細胞学会会報誌 PDF 化に伴う予算の大幅な削減により、東北臨床細胞学会繰越金の増額が見込まれ、その使い道について検討することが承認された。寄せられた意見について、WEB 会議にて検討することになった。

【Web 会議】2020年8月17日（月）17：30～18：05 Zoom を用いたオンライン会議を行った。

出席者

青森県： 渡邊 純 横山良仁 吉岡治彦
秋田県： 南條 博
岩手県： 菅井 有 板持広明 山田範幸 三浦史晴
山形県： 緒形真也
福島県： 橋本優子
宮城県： 伊藤 潔 渡辺みか 笹野公伸 八重樫伸生 渡部 洋 岡本 聡 秀城浩司
本部： 石川 恵 山本ちひろ 高橋幸夫

欠席者（うち委任状あり17名）

青森県： 丸山英俊 二神真行 鬼島 宏
秋田県： 佐藤宏和 大山則昭 須田公治 伊藤 智 川上 登
高橋さつき
岩手県： 佐藤 孝 田村 元 浅沼匡介
山形県： 永瀬 智 中原健次 飛塚 潔 植松美由紀 大江倫太郎
齋藤裕紀 狩野正昭
福島県： 野沢佳弘 西山 浩 内海康文 原田仁稔 松木浩子
宮城県： 三浦弘守

1) 開会・理事長の挨拶(伊藤潔先生)

今年度の理事改選に伴い、引き続き横山良仁先生に副理事長をお願いする旨、他の各会務の担当についても後日留任の打診をする旨を報告された。2022年仙台市にて開催される第61回日本臨床細胞学会秋期大会への支援についてもお願いされた。

2) 東北臨床細胞学会繰越金の使い道についての検討

メール審議にて集約された意見のうち、学術集会運営費10万円の増額、2022年日本臨床細胞学会学術集会秋期大会協賛金への利用について審議がなされ、承認された。学術集会運営費の増額は、来年度秋田県にて開催の、第57回東北臨床細胞学会学術集会より。

日本臨床細胞学会の仙台開催は15年ぶりの事で、東北で盛会に盛り上げていくため、余裕のある予算を組むことも必要との意見もいただき、東北臨床細胞学会繰越金より援助することになった。協賛金の金額については今後改めて検討を行う。

3) with corona時代の学術集会のあり方、web配信等への対応について

メール審議にて、with corona時代の学術集会のあり方の検討をすべきとのご提案をいただき、審議を行った。

学術集会開催の形式を、開催県の裁量にて判断することを承認された。

学術集会配信用の何らかのアカウントを取得する事、zoom配信、you tube配信、オンデマンド配信、ウェビナー形式での配信などの発案あり。しかしながら、配信で細胞像の読み方を伝えることは可能か、ディスカッションの場を設けることは可能か、セキュリティを確保することは可能かという懸念も示された。

また、今後の日本臨床細胞学会の学術集会開催に関しては、東北臨床細胞学会の理事内でも情報を共有する必要があるという意見もみられた。

メール審議 令和2年12月24日

東北大学災害科学国際研究所から、支援書状の発行が当学会にあった為、理事長から発行の可否を審議依頼。

研究所の共同利用・共同研究拠点としての活動(添付)に対し、当会の支援を賜る旨の書状をお願いしたいとの要請がありました。災害とそれに関連するがん検診への影響は、本会としても憂えているところですので、承認とし、添付の形で支援書状をお送りさせていただければと存じます。

(特に当会に財政的負担や義務が生じるものではありません) (最終的には数十の学会から支援書状が集

まる予定と聞いています) ご確認いただき、もしご異論がありましたら、12月28日月曜日までにこのメールにご返送ください。ご異論なければ、承認とさせていただきます、書状を理事長名で発行させていただきます。
よろしく願いいたします。

依頼状

東北大学災害科学国際研究所では、国立大学付置研究所の共同利用・共同研究拠点として「災害レジリエンス学際研究拠点」の申請に向けて準備を進めております。

申請に際しまして、弊所が共同利用・共同研究拠点となることによって、当該分野の研究の活性化とさらなる発展が見込まれることにつきまして、外部学術組織からの要望を得る必要がございます。当該分野の領域に多大なる貢献をされてこられました貴会より、拠点化に関する要望書(推薦書)をいただくことが、採択にむけて大きなアピールになると考えております。

貴会より、弊所が本分野における共同利用・共同研究拠点として活動を発展・飛躍させ、さらなる学術的貢献を継続して参ることに対する支援のご意向・ご要望をお示し頂きたくお願い申し上げる次第です。

ご多忙の折、大変に恐縮でございますが、本研究所の共同利用・共同研究拠点としての活動に対し、貴会のご支援を賜る旨の書状を承ることができましたら幸甚に存じます。

2月3日を期限とさせていただいておりますが、要望書の学会内部での承認・手続き等が遅れる場合には、その旨を2月初旬までにご連絡いただければ幸甚に存じます。

急な依頼のご連絡で申し訳ございませんが、どうかご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

.
. .

メール報告 令和3年1月6日

東北大学災害科学国際研究所の共同利用・共同研究拠点としての活動に対し、当会の支援書状発行の件。12月28日まで、異論なく、承認とした。書状を理事長名で発行した。

各県臨床細胞学会活動報告

青森県

第 38 回青森県臨床細胞学会総会並びに学術集会

プログラム

日 時	令和 3 年 3 月 6 日 (土) 13:00~16:40
参加費	1,000 円
会 場	弘前大学医学部保健学科 E 棟 6 階 63 番教室(定員 230 名程度) 弘前市本町 66-1 TEL 0172-39-5967
交 通	弘前駅前(西口) から100円バス乗車 (10分間隔で運行) 大学病院前 下車 (所要時間約15分) 徒歩7分
主 催	青森県臨床細胞学会 学術集会長 渡邊 純

本学会の特別・教育講演は、令和 2 年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会 (子宮がん・肺がん検診細胞診従事者指導講習会) を兼ねています。

青森県臨床細胞学会役員会 (11:20~12:20)

青森県細胞検査士会総会 (12:20~12:40)

第 38 回青森県臨床細胞学会総会 (12:40~13:00)

1. 一般演題 (13:00~13:30) (発表 8 分、討論 2 分)

座長 黒石病院臨床検査科 四釜 育与

(1) 腹腔内播種をきたした子宮頸部胃型腺癌の一例

- 三浦理絵¹⁾、二神真行¹⁾、門ノ沢結花¹⁾、大澤有姫¹⁾、小島啓子³⁾、加藤哲子³⁾、横山良仁¹⁾
水上浩哉²⁾、渡邊純⁴⁾、黒瀬顕³⁾

1) 弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 2) 同 分子病態病理学講座

3) 弘前大学医学部附属病院 病理部 4) 弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域

(2) 診断に苦慮した破骨型巨細胞を伴う乳癌の 1 例

- 松長夢子¹⁾、高畑英智¹⁾、須藤安史¹⁾、奥沢悦子¹⁾、矢嶋信久¹⁾
八戸市立市民病院 臨床検査科病理

(3) 当院における胆道系細胞診—胆汁細胞診と胆管擦過細胞診の比較—

- 小原勇貴¹⁾、萩生田美穂¹⁾、笹生俊一²⁾、春日井聡³⁾

1) 八戸赤十字病院検査技術課、2) 同 病理診断科

3) 岩手医科大学内科学講座 消化器内科消化管分野

— 休憩 —(13:30~13:40)

2. スライドカンファレンス(13:40~14:20)

座長 大館市立総合病院臨床検査科 松本 一仁
弘前大学医学部附属病院病理部 小島 啓子

(1)骨軟部

出題 弘前大学医学部附属病院病理部 岡田 壮士
解答 青森市民病院臨床検査部病理検査室 三上 紗季

(2)体腔液

出題 青森県立中央病院病理部 齋藤 千世子
解答 つがる西北五広域連合つがる総合病院臨床検査部 鳥谷部 慎子

3. 教育講演 1 (14:20~14:50)

座長 弘前大学医学部附属病院病理部 熊谷 直哉

「病理部の ISO 15189 取得について」

青森県立中央病院病理部 檜山 美佐江 先生

— 休憩 —(14:50~15:00)

4. 教育講演 2 (15:00~15:40)

座長 弘前大学大学院保健学研究科生体検査科学領域 渡邊 純

「蛍光 L-グルコース 2-NBDLG を用いた腹水細胞診断」

弘前大学大学院医学研究科統合機能生理学講座 山田 勝也 先生

5. 特別講演(15:40~16:40)

座長 弘前大学産科婦人科学教室 横山 良仁

「今後の細胞診教育のあり方」(音声付き PPT 発表)

札幌医科大学産婦人科学講座 齋藤 豪 先生

秋田県

令和2年度秋田県臨床細胞学会総会

日時 10月 書面会議で実施

議 事

1. 報告事項

- 1) 総務報告
- 2) 2019年度事業報告

2. 協議事項

- 1) 2019年度決算報告及び監査について
- 2) 2020年度事業計画案について
- 3) 2020年度会計予算案について
- 4) 会長および役員改選などに関する事項

3. その他

令和2年度 秋田県子宮がん検診研修会

日時 令和3年1月9日(土) 16:00~18:00

会場 秋田県医師会館 会議室

次 第

1. 開会挨拶

秋田県医師会子宮がん検診中央委員会委員長 寺田 幸弘

2. 報告(16:05-16:15)

「平成30年度子宮頸がん検診と婦人科超音波検診の報告」

秋田県医師会常任理事 大山 則昭

3. 教育講演(16:15-16:55)

座長 秋田県医師会子宮がん検診中央委員会副委員長 南條 博

「液状化検体法導入後の現状と診断精度向上に向けての課題(仮)」

(公財)秋田県総合保健事業団 児桜検査センター
臨床検査課主任 阿部 智幸 氏

4. 特別講演(17:00-18:00)

座長 秋田県医師会子宮がん検診中央委員会委員長 寺田 幸弘

「子宮頸がんワクチン接種の行動変容に向けて」

秋田大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座教授 野村 恭子 先生

5. 閉会

第 18 回秋田県臨床細胞学会研修会

日 時 令和 3 年 2 月 27 日(土) 14:00～16:45

会 場 にぎわい交流館 Au(あう)多目的ホール(3F)

プログラム

講演(14:00～15:10)

座長：秋田県総合保健事業団 児桜検査センター 池内 広喜

「令和 2 年度 秋田県 病理部門 精度管理調査報告」14:00～14:30

秋田赤十字病院病理診断科 浅利 智幸

「県内病理検査室における検体取り違え等への対策に関する調査報告」14:40～15:10

大館市立総合病院臨床検査科 佐藤 謙太郎

一般演題(15:15～15:50)

座長 大曲厚生医療センター臨床検査科病理 須田 公治

「当院の過去 10 年間の胆汁細胞診の再検討」

秋田大学医学部附属病院病理診断科・病理部 三浦 桃子

「当院のセルブロック検体の検討」

中通総合病院病理部 根 裕人

「鼠径部に発症したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と古典的ホジキンリンパ腫の中間的特徴を伴う B 細胞リンパ腫・分類不能型の 1 例」

厚生連雄勝中央病院臨床検査科 高橋 治生

特別講演(16:00～16:45)

座長 秋田大学医学部附属病院病理診断科・病理部 伊藤 智

「遺伝性乳がん卵巣がん症候群診療支援の現状と今後の課題」

秋田大学医学部附属病院遺伝子医療部遺伝看護専門看護師 納富 理絵 先生

岩手県

第 36 回岩手県臨床細胞学会総会・集談会

令和元年度生活習慣病検診等従事者指導講習事業

期 日：令和 2 年 1 月 25 日(土) 13:30～

会 場：アイーナ いわて県民情報交流センター 804B

総会

集談会

1. 一般講演 座長 柴田 祐二 技師

1) 子宮体部癌肉腫の一症例

岩手県立中央病院 臨床検査技術科¹⁾, 病理診断センター²⁾, 産婦人科³⁾

○山田孝弘¹⁾, 佐藤昂¹⁾, 平山主税¹⁾, 北條寛尚¹⁾, 金子実幸¹⁾, 中野香奈子¹⁾, 渡邊陽子¹⁾, 高橋一博¹⁾
八重樫弘²⁾, 小野貞英²⁾, 佐熊勉²⁾, 佐々木史子³⁾, 深川智之³⁾, 三浦史晴³⁾

2) 背景に基質様物質を認めた授乳期乳癌の細胞像

盛岡赤十字病院 医療技術部病理技術課¹⁾, 同・検査技術課²⁾, 同・産婦人科³⁾, 同・病理部⁴⁾
岩手医科大学医学部 病理診断学講座⁵⁾

○浅沼匡介¹⁾, 菊池優¹⁾, 水野幸人¹⁾, 井上幸男²⁾, 本田達也³⁾, 門間信博⁴⁾, 上杉憲幸⁵⁾, 菅井有⁵⁾

3) 胆膵系細胞診の検体処理方法

岩手医科大学附属病院 病理診断科¹⁾, 岩手医科大学医学部 病理診断学講座²⁾

○山田範幸¹⁾, 田村彩佳¹⁾, 肥田野靖史¹⁾, 高橋静子¹⁾, 菊池いな子¹⁾, 安保淳一¹⁾, 杉本亮^{1,2)}
藤田泰子^{1,2)}, 刑部光正^{1,2)}, 上杉憲幸^{1,2)}, 石田和之^{1,2)}, 菅井有^{1,2)}

2. 教育講演 1 座長 岩手医科大学医学部臨床腫瘍学講座 板持 広明 先生

「消化器癌のマイクロサテライト不安定性の臨床病理学的意義」

岩手医科大学医学部病理診断学講座 杉本 亮 先生

3. 教育講演 2 座長 岩手医科大学医学部病理学講座機能病態分野 佐藤 孝 先生

「子宮頸癌 FIGO 新進行期分類のポイント」

岩手医科大学医学部産婦人科学講座 永沢 崇幸 先生

4. 特別講演 座長 岩手医科大学医学部病理診断学講座 菅井 有 先生

「移り行く婦人科悪性腫瘍治療：令和の“働き方改革”時代の中で」

岩手医科大学医学部産婦人科学講座教授 馬場 長 先生

山形県

第40回山形県臨床細胞学会総会・学術集会並びに 成人病検診従事者（細胞診）講習会

日 時 令和2年10月17日（土）

場 所 山形テルサ 大会議室（現地またはWEB）

1. セミナー

1) 「細胞診の精度管理」

講 師 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社病理診断・シーケンシング事業部
営業部 クリニカルセールス東日本G 坂 英海 氏

2) 「第1回オンライン座談会（2020年7月15日開催）

「“新型コロナウイルス感染に対し、病理検体取扱いについて語る
～日本病理学会・CAPがトピックをふまえて～”」

サクラファインテックジャパン株式会社 ※WEB 動画（許可済）

2. 山形県臨床細胞学会総会

3. 日本臨床細胞学会ビュー

1) 肺腺癌セルブロックを用いたPD-L1 蛋白発現についての検討

山形県立中央病院検査部 渡邊 いづみ 技師

2) 肉腫成分の過剰増殖を伴う子宮腺肉腫の1例

山形県立中央病院 阿部 光展 技師

3) 尿細胞診を機に発見された尿道原発悪性黒色腫の1例

山形県立新庄病院 郷右近 秀平 技師

4. 細胞検査士総会

宮城県

第 35 回宮城県臨床細胞学会総会・学術集会

期日：2021 年 2 月 7 日（日）

Cisco Webex での Web 開催

参加者 158 名

I. 教育講演

座長 東北大学災害科学国際研究所 伊藤 潔

「COVID-19 のこれまでとこれから」

東北大学災害科学国際研究所 災害感染症学分野 児玉 栄一

「COVID-19 と臨床検査 ～東北大病院検査部の取り組みの紹介～」

東北大学病院 検査部 藤巻 慎一

II. 特別講演

共催セミナー：中外製薬株式会社

座長 東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野 八重樫 伸生

「東北大学病院におけるがん遺伝子パネル検査の現況」

東北大学病院 緩和ケアセンター 杉山 育子

～宮城県臨床細胞学会総会～

III. 一般演題

座長 宮城県立がんセンター病理診断科 伊藤 しげみ
仙台厚生病院病理検査室 諸橋 彰

1) アルギン酸ナトリウムを用いたセルブロック法における核の石灰沈着

仙台医療センター¹⁾、国立病院機構 弘前病院²⁾

○ 齋藤 邦倫¹⁾、八木橋 法登²⁾

1) 眼窩内腫瘍として穿刺吸引細胞診が施行された髄膜腫の 1 例

大崎市民病院 臨床検査部¹⁾、同病理診断科²⁾

○ 高野 託願¹⁾、戸村 弘樹¹⁾、本谷 友紀¹⁾、大崎 美千子¹⁾、谷内 真司²⁾、
坂元 和宏²⁾

1) 舌擦過細胞診の診断における真珠形成の有用性について

東北大学病院 診療技術部 病理部門¹⁾、東北公済病院²⁾

○ 向 美祐希¹⁾、三浦 弘守¹⁾、今野 かおり¹⁾、安達 友津¹⁾、小泉 照樹¹⁾、
菅原 隆讓¹⁾、山口 祐香¹⁾、吉田 詩織¹⁾、渡辺 みか²⁾

1) 子宮頸部腺系病変検出における p16^{INK4a}/Ki67 二重免疫染色の有用性

東北大学病院 産婦人科¹⁾、東北公済病院臨床検査科²⁾、仙台医療センター産婦人科³⁾

○ 宮原 周子¹⁾、岡本 聡²⁾、新倉 仁³⁾、土岐 麻実¹⁾、徳永 英樹¹⁾、石橋 ますみ¹⁾、
辻 圭太¹⁾、島田 宗昭¹⁾、
八重樫 伸生¹⁾

IV. スライドセミナー

座長 東北大学病院産婦人科 石橋 ますみ
宮城県立がんセンター臨床検査技術部 植木 美幸

(1) 婦人科

出題	宮城県対がん協会	大場 朋子 (CT)
解答	スズキ記念病院	佐藤 いずみ (MD)

(2) 呼吸器

出題	東北大学病院病理部	井上 千裕 (MD)
解答	気仙沼市立病院	高橋 裕明 (CT)

(3) その他

出題	宮城県立がんセンター病理診断科	伊藤 しげみ (MD)
解答	東北医科薬科大 病理部	築田 祐美 (CT)

福島県

第 40 回福島県臨床細胞学会総会並びに学術大会

※新型コロナウイルス感染拡大の防止および新規感染者予防のため延期

2020 年度福島県細胞検査士資格認定試験対策勉強会

※新型コロナウイルス感染拡大の防止および新規感染者予防のため中止

令和 2 年度福島県生活習慣病検診等従事者指導講習会（子宮がん検診）

※新型コロナウイルス感染拡大の防止および新規感染者予防のため中止

2020 年度県北細胞診勉強会

※新型コロナウイルス感染拡大の防止および新規感染者予防のため中止

県南細胞診症例検討会

※新型コロナウイルス感染拡大の防止および新規感染者予防のため中止

役員名簿

2020—2021 年度 東北臨床細胞学会役員

理事長：伊藤 潔
副理事長：横山 良仁
総務：大山 則昭・丸山 英俊
学術：板持 広明・永瀬 智
会計：西山 浩 ・秀城 浩司
監事：渡辺 みか

理 事

青森県 渡邊 純（弘前大学大学院 保健学研究科）
丸山 英俊（三沢市立三沢病院 産婦人科）
横山 良仁（弘前大学大学院医学研究科 産婦人科学講座）
二神 真行（弘前大学大学院医学研究科 産婦人科学講座）
鬼島 宏（弘前大学大学院医学研究科 病理生命科学講座）
吉岡 治彦（弘前大学大学院 保健学研究科）

岩手県 菅井 有（岩手医科大学医学部 病理診断学講座）
板持 広明（岩手医科大学医学部 臨床腫瘍学講座）
佐藤 孝（岩手医科大学医学部 病理学講座）
田村 元（PCL 盛岡 病理・細胞診センター）
山田 範幸（岩手医科大学 病理診断科）
三浦 史晴（岩手県立中央病院 産婦人科）
浅沼 匡介（盛岡赤十字病院 医療技術部）

秋田県 南條 博（秋田大学医学部附属病院 病理部・病理診断科）
佐藤 宏和（秋田赤十字病院 産婦人科）
伊藤 智（秋田大学医学部附属病院 病理部・病理診断科）
大山 則昭（秋田赤十字病院 産婦人科）
川上 登（厚生連かづの厚生病院 臨床検査科病理）
高橋 さつき（厚生連平鹿総合病院 病理診断科）
須田 公治（大曲厚生医療センター 臨床検査科病理）

- 山形県 永瀬 智（山形大学医学部 産科婦人科学講座）
 中原 健次（山形県立中央病院 産婦人科）
 緒形 真也（山形県立中央病院 病理診断科）
 飛塚 潔（米沢市立病院 臨床検査科）
 植松 美由紀（山形県立新庄病院 検査部）
 大江 倫太郎（山形大学医学部 病理診断学講座）
 齋藤 裕紀（日本海総合病院 検査部）
 狩野 正昭（済生会山形済生病院 臨床検査部）
- 宮城県 伊藤 潔（東北大学災害科学国際研究所）
 渡辺 みか（東北公済病院 病理診断科）
 笹野 公伸（東北大学大学院医学系研究科医科学専攻
 病理病態学講座病理診断学分野）
 八重樫 伸生（東北大学大学院医学系研究科 婦人科分野）
 渡部 洋（東北医科薬科大学病院 産婦人科）
 岡本 聡（東北公済病院 臨床検査科）
 三浦 弘守（東北大学病院 病理部）
 秀城 浩司（（公財）宮城県対がん協会 細胞診センター）
- 福島県 野沢 佳弘（白河厚生総合病院 病理診断科）
 西山 浩（いわき市医療センター 産婦人科）
 内海 康文（（一財）大原総合病院 病理診断科）
 橋本 優子（福島県立医科大学医学部 病理病態診断学講座）
 原田 仁稔（（一財）坪井病院 中央検査部）
 松木 浩子（白河厚生総合病院 病理診断科）
- 事務局 山本 ちひろ（（公財）宮城県対がん協会 細胞診センター）
 羽場 詩穂美（（公財）宮城県対がん協会 細胞診センター）
 高橋 幸夫（仙台赤十字病院 病理診断科部病理技術課）

東北臨床細胞学会会則

第1章 名称

第1条 本会は、東北臨床細胞学会と称する。

第2章 目的および事業

第2条 本会は、東北地区における臨床細胞学の進歩と普及を目的とし、会員相互の親睦を図る。

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 学術集会の開催
2. その他必要な事業

第4条 本会の本部は、理事長の定めるところにおく。

第3章 会員

第5条 本会は、東北六県いずれかの臨床細胞学会に所属する会員により構成される。

第6条 会員は、本会が開催する集会に出席して業績を発表し、発言することができる。

第7条 会員が退会し、または転居する場合には、県学会を通して本部に通知しなければならない。

第8条 本会に多大の貢献をしたものは、役員会の決議に基づいて、名誉会員に推薦されることがある。

第9条 本会の事業に寄付その他の援助を与える団体または個人を、賛助会員とすることができる。

第4章 役員

第10条 本会の役員は下記により構成される。

1. 東北六県より推薦された各県5名の理事
2. 理事長推薦若干名(各県3名以内)の理事

第11条 理事長1名をおく。

1. 理事長は、本会を代表し会務を主宰する。
2. 理事長は、理事の互選によって定める。
3. 理事長の任期は2年とし、2期4年を限度とする。
4. 理事長の選出方法については別途細則に定める。

- 第 12 条 副理事長 1 名をおく。
1. 副理事長は、理事長を補佐する。
 2. 理事長が事情により職務の遂行が不可能なときは理事長の職務を代行する。
 3. 副理事長は、理事長が指名する。

- 第 13 条 監事 1 名をおく。
- 監事は理事の中より理事長が指名する。

- 第 14 条 総務、学術、会計の各担当理事は理事の中より理事長が指名する。

- 第 15 条 役員会は、会務に関する重要事項を審議し会務を執行する。

- 第 16 条 役員は選出年度の 3 月 31 日現在満 65 歳以下の者とする。
- 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 5 章 学術集会

- 第 17 条 本会は、年一回の学術集会を開催する。
- 学術集会会長の選出は役員会にて協議し決定する。

- 第 18 条 学術集会の他に、研修会や講演会などを主催することができる。

第 6 章 会計

- 第 19 条 本会の経費は、各県学会分担金、寄付金などをもって充当する。

- 第 20 条 分担金の額および納入方法は、役員会にて定める。

- 第 21 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。

第 7 章 会則の変更

- 第 22 条 会則の変更は、役員会の承認を経て行われる。

附則

本会則は、昭和 59 年 7 月 15 日から実施する。

本会則は、平成 6 年 7 月 9 日一部改定。

本会則は、平成 28 年 4 月 1 日一部改定。

本会則は、平成 29 年 7 月 1 日一部改定。平成 30 年 7 月 7 日から実施する。

会 員 数

2021年3月31日現在

	医師会員数	技師会員数	計
青森県	42	67	109
秋田県	42	82	124
岩手県	54	66	120
山形県	23	60	83
宮城県	86	125	211
福島県	43	97	140
計	290	497	787

【参 考】

	医師会員数	技師会員数	計
平成15年度	276	411	687
平成16年度	270	408	678
平成17年度	269	414	683
平成18年度	271	421	692
平成19年度	273	420	693
平成20年度	284	441	725
平成21年度	289	450	739
平成22年度	295	453	748
平成23年度	294	455	749
平成24年度	285	448	733
平成25年度	280	450	730
平成26年度	305	468	773
平成27年度	302	493	795
平成28年度	299	495	794
平成29年度	303	518	821
平成30年度	290	503	793
2019年度	287	509	796

事務局一覽

理 事 長	伊藤 潔	〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 東北メディカルメガバンク棟 5 階 東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門災害産婦人科学分野	TEL 022-273-6284 FAX 022-273-6284
本 部	山本 ちひろ 羽場 詩穂美 高橋 幸夫	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉五丁目 7-30 (公財)宮城県対がん協会 細胞診センター内	TEL 022-263-1525 FAX 022-262-3775

学 会 名	学 会 長	事務局所在地	TEL FAX	事務担当者
青森県臨床 細胞学会	渡邊 純	〒036-8564 青森県弘前市本町 66-1 弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域内	0172-39-5967 0172-39-5972	渡邊 純 吉岡 治彦
秋田県臨床 細胞学会	南條 博	〒010-8543 秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2 秋田大学医学部付属病院 病理診断科・病理部	018-884-6200 018-884-6570	成田 かすみ
岩手県臨床 細胞学会	菅井 有	〒028-3695 紫波郡矢巾町医大通 2 丁目 1 番 1 号 岩手医科大学附属病院 病理診断科	019-613-7111 019-907-8145	菊池 いな子
山形県臨床 細胞学会	阿部 祐也	〒990-8545 山形県山形市沖町 79-1 山形済生病院 臨床検査部内	023-682-1111 023-682-0124	狩野 正昭 國井 徹
宮城県臨床 細胞学会	伊藤 潔	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉五丁目 7-30 (公財)宮城県対がん協会 細胞診センター内	022-263-1525 022-262-3775	山本 ちひろ 羽場 詩穂美
福島県臨床 細胞学会	内海 康文	〒960-8611 福島県福島市上町 6 番 1 号 (一財)大原記念財団 大原総合病院 病理診断科	024-526-0377 024-526-0331	安齋 有紀子

発 行 令和 3 年 6 月
発行者 東北臨床細胞学会理事長 伊藤 潔
発行所 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉五丁目 7-30
宮城県対がん協会細胞診センター内
東北臨床細胞学会
電話 022-263-1525